

BRUCE CONNER

March 18 - April 15, 2006

「ブルース・コナー」展

2006年3月18日～4月15日



Criminal Act, 1961, wood engraving collage, 14 x 11 cm

ミヤケファインアートではブルース・コナーの日本で最初の個展を開催します。1933年にアメリカのカンザス州に生まれたブルース・コナーは1956年ニューヨークで作家としての活動をスタートさせるものの翌年には西海岸へ移住します。1962年、若き日の俳優デニス・ホッパーと出会い、ホッパーが映画「イージーライダー」(1969)でハリウッドへの振り返きを果たす際、コナーはホッパーにその編集を指導したといえます。コナーは57年に“A MOVIE”と題された12分の16mmフィルムの映像作品を発表しています。”Found Footage”すなわち既存の映像フィルムをつなぎ合わせて新しい映像作品をつくるという技法は、今日MTVなどで私たちが目にする映像のもととなったとも言われます。”Found Object”すなわちアッセンブラージュやコラージュはコナーの60年代の作品に見られる独自のアプローチです。その後のホッパーの俳優としての活躍は周知のとおりですが、一方コナーはその奇行のせいか、周囲との迎合を一切拒絶する性癖のせいか、コナーの仕事は西海岸以外で紹介される機会には恵まれませんでした。コナーはブルース・コナーとして発表する作品の他、エミリー・フェザー、ビリー・デューあるいはアノニマス(匿名)としても作品を発表しており、作家を知る人々にはそれら全てがコナーによるものであることは周知にも関わらず、本人はインタビューはもとよりごく親しい友人にさえも、それら架空の存在が実在していてコナーがそれらアーティストを代表しているかのように振舞います。

1999年10月からミネアポリスのウォーカーアートセンターが組織した大規模な回顧展が全米を巡回しました。この展覧会のために調査された作品の中にはアンディー・ウォーホルやジャスパー・ジョーンズの所蔵品があったというエピソードからも、ブルース・コナーという作家が60年代のアメリカでどのような存在であったかが伺い知れます。ともあれ、この展覧会を契機として作品の評価、注目は一挙に高まり、今日ではニューヨーク近代美術館、グッゲンハイム美術館、ポンピドーセンターといった世界屈指のメジャー美術館がコナーの作品をコレクションに加えるようにまできました。

半世紀に及ぶブルース・コナーの創作活動はアッセンブラージュ、絵画、ドローイング、版画、写真、フィルムと様々なメディアに渡って展開します。本展では初期の代表的仕事とも言えるウッド・グレービング・コラージュと現在では最もポピュラーとなったメイズ・ドローイング、そして比較的近作となるロールシャッハ検査を応用したインク・ピロット・ドローイングから13点を紹介いたします。

作家が高齢のため本展に併せての来日はかありませんでしたが、作家は日本で初めて作品が紹介できる機会が持てましたことを心より喜んでおります。本展をぜひご高覧頂けますようお願い申し上げます。

MIYAKE FINE ART

株式会社 ミヤケファインアート

1-3-2 Kiyosumi, 5th Floor, Koto-ku, Tokyo 135-0024 Japan

135-0024 東京都江東区清澄1-3-2-5F

Telephone +81-3-5646-2355 / Facsimile +81-3-5646-2356

info@miyakefineart.com / www.miyakefineart.com